

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	現代社会B
科目基礎情報					
科目番号	01235		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建築学科		対象学年	1	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	「公共」(数研出版) / 「フォーラム 公共」(とうほう)				
担当教員	林 泰正				
到達目標					
(ア)近代の思想において、好ましい社会と人間の関係が、法を介して捉えられてきたことを理解できる。 (イ)民主政治の基本的原理、日本国憲法の成り立ちやその特性について理解できる。 (ウ)資本主義経済の特性、財政・金融の機能、経済に対する政府の役割について理解できる。 (エ)現代社会における諸課題と、公正な社会の実現に向けた取り組みについて理解できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目(ア)	近代の思想において、好ましい社会と人間の関係が、法を介して捉えられてきたことを理解し、他者に適切に説明できる。		近代の思想において、好ましい社会と人間の関係が、法を介して捉えられてきたことを理解できる。		近代の思想において、好ましい社会と人間の関係が、法を介して捉えられてきたことを理解できない。
評価項目(イ)	民主政治の基本的原理、日本国憲法の成り立ちやその特性について理解し、他者に適切に説明できる。		民主政治の基本的原理、日本国憲法の成り立ちやその特性について理解できる。		民主政治の基本的原理、日本国憲法の成り立ちやその特性について理解できない。
評価項目(ウ)	資本主義経済の特性、財政・金融の機能、経済に対する政府の役割について理解し、他者に適切に説明できる。		資本主義経済の特性、財政・金融の機能、経済に対する政府の役割について理解できる。		資本主義経済の特性、財政・金融の機能、経済に対する政府の役割について理解できない。
学科の到達目標項目との関係					
本校教育目標 ⑤ 技術者倫理					
教育方法等					
概要	現代社会の中で自己の能力を十分に発揮しつつ生きていくためには、私たちが暮らしている社会のしくみを深く理解しておくことが重要である。また、各自が社会の一員であることを自覚しつつ、この社会が抱えている課題を客観的に考察し、問題の解決を目指していくことも必要である。この授業では、刻々と変化し続ける現代の政治・経済に焦点を当てつつ、公平なものの方・考え方を養っていく。そして、現代社会に関する政治的、経済的認識を高め、社会問題を主体的に考えることができるようになることを目標とする。				
授業の進め方・方法	基本的に講義形式ですすめていく。いくつかのテーマについては、小グループに分かれてグループワークに取り組みながら理解を深めてもらう。授業の理解度の確認のため、まとまりごとに小テストを実施する。				
注意点	適宜時事問題を取り上げていくので、新聞やテレビのニュースに関心を払い、興味深い話題については自分なりの考えを持つようにすること。				
選択必修の種別・旧カリ科目名					
選択必修(社)					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
必修					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	民主社会の基本原則(1): 民主政治と法の支配	(ア)近代の思想において、好ましい社会と人間の関係が、法を介して捉えられてきたことを理解できる。	
		2週	民主社会の基本原則(2): 個人と社会とのかかわり	(ア)近代の思想において、好ましい社会と人間の関係が、法を介して捉えられてきたことを理解できる。	
		3週	日本社会の基本原則(1): 日本国憲法と基本原則・平等権と自由権	(イ)日本国憲法の成り立ちやその特性について理解できる。	
		4週	日本社会の基本原則(2): 社会権・新しい人権	(イ)日本国憲法の成り立ちやその特性について理解できる。	
		5週	日本の政治機構(1): 国会と内閣	(イ)民主政治の基本的原理について理解できる。	
		6週	日本の政治機構(2): 裁判制度と司法参加の意義	(イ)民主政治の基本的原理について理解できる。	
		7週	政治参加と民主政治の課題(1): 選挙と政党	(イ)民主政治の基本的原理について理解できる。	
		8週	政治参加と民主政治の課題(2): 地方自治と現代民主政治の課題	(イ)民主政治の基本的原理について理解できる。	
	4thQ	9週	経済の仕組みと市場機構	(ウ)資本主義経済の特性、財政・金融の機能、経済に対する政府の役割について理解できる。	
		10週	財政と金融(1): 国民所得と経済成長、財政の役割	(ウ)資本主義経済の特性、財政・金融の機能、経済に対する政府の役割について理解できる。	
		11週	財政と金融(2): 金融の役割と金融政策	(ウ)資本主義経済の特性、財政・金融の機能、経済に対する政府の役割について理解できる。	
		12週	日本経済の発展と変化(1): 日本経済の歩み	(ウ)資本主義経済の特性、財政・金融の機能、経済に対する政府の役割について理解できる。	
		13週	日本経済の発展と変化(2): 産業構造の変化と職業	(ウ)資本主義経済の特性、財政・金融の機能、経済に対する政府の役割について理解できる。	
		14週	豊かな生活と福祉の実現(1): 契約と消費者問題	(エ)現代社会における諸課題と、公正な社会の実現に向けた取り組みについて理解できる。	

		15週	豊かな生活と福祉の実現（２）：労働と雇用、授業のまとめ	(工)現代社会における諸課題と、公正な社会の実現に向けた取り組みについて理解できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文社会科学	社会	社会	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理と基礎的な政治・法・経済の仕組みを理解し、現代社会の諸課題について考察できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15	
				現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定し、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。	3	後2,後14,後15	
分野横断的能力	汎用的技能	情報収集・活用・発信力	情報収集・活用・発信力	デジタルツールを含む種々の手段や各種メディアを活用し、情報を収集できる。	3	後7	
				信頼性・妥当性・有効性などを考慮しながら情報を検証・評価できる。	3	後7	
				自己及び他者の権利に配慮し、適切な方法を用いて情報を活用し、効果的に情報発信できる。	3	後7	
		思考力	思考力		複合的な事象や出来事を分析できる。	3	後2,後7,後8,後13,後14,後15
					情報や主張を批判的に検証できる。	3	後2,後7
					情報や主張を説得的に提示するための方法を考えることができる。	3	後2,後7
		課題発見力・問題解決力	課題発見力・問題解決力		直面している事象や出来事を分析して、対応すべき問題を特定できる。	3	後2,後7,後8,後13,後14,後15
					現状を分析した上で、実現すべき理想との乖離（ギャップ）の中に含まれる課題を把握できる。	3	後2,後7,後8,後13,後14,後15

評価割合

	定期試験	課題	小テスト	合計
総合評価割合	60	20	20	100
基礎的能力	60	20	20	100